



「幸せに暮らせるまちの実現へ」

周防大島町長 椎木 巧

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。

さて、昨年は一年を通じてテレビ、ラジオ、新聞、雑誌などのメディアに度々取りあげていただきました。周防大島町の知名度アップに繋がったと喜んでおります。また、総務省の地方自治体移住PR動画のコンテンツで、周防大島町作品「帰郷」が総務大臣賞を受賞するとともに、本町の瀬戸内ジャムズガーデンが、今年度の6次産業化優良事例として、農林水産大臣賞を受賞するなど、本町の名前を全国に発信することができました。

更に、都会の子供たちの修学旅行の誘致による体験型観光も定着しつつあり、これを大人の体験旅行にもつなげていきたいと思っております。

新たに廃校跡地の活用として、和田小跡地にはパソコンPOSシステムビジCOMのサテライトオフィス、三浦小跡地にはパプリカ栽培施設を

誘致し、既に五千本の苗がすくすく育っております。大島産のパプリカが食卓に並ぶ日が楽しみです。日良居中は、町の健康福祉部の庁舎に改修し、沖浦中跡地には大規模太陽光発電の設置が進んでおります。

さて、本年は、私にとりまして二期目の仕上げの年という節目を迎えます。

就任以来、町民の皆様のご支援、ご協力をいただきながら、「合併してよかったと実感できるまちづくり」に向け、諸事業を実施してまいりました。合併からの課題であります財政の健全化を第一に掲げ、行財政改革を推進し、生活関連施設の整備や子育て支援を充実するとともに、町の固有の財産である豊かな自然や文化との連携を密にした観光交流人口100万人を目指し、さらには、「交流から定住へ」を合言葉に、幸せに暮らせる町づくりの実現に向け、職員と一丸となって取り組んでまいりました。

国においては、昨年から地方創生

を最重要課題と位置づけ、地方版の総合戦略の策定が求められるなど、これからの正念場であり、地方が自ら考え、国、地方を挙げて、地方創生の具体的な事業への取り組みが本格化いたしてまいります。

私の基本方針は、「町民の皆様が幸せに暮らせるまち」を実現することであり、「定住対策」、「防災対策」、「健康づくり」に更に積極的に取り組んでまいります。

新たな年を迎えるにあたり、これから重要課題への取り組みと、私から来から推進してまいりました地域に密着した事業を中心に、初心を忘れることなく、「まじめに、誠実に、地道に、謙虚に、そして確実に」をモットーに「幸せに暮らせるまちづくり」に向け町政を推進してまいりますので、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

今年が皆様にとりまして、輝かしい良き年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。